

杵築市防災マップ
<http://gis.chklab.com/hazardkitsuki/>



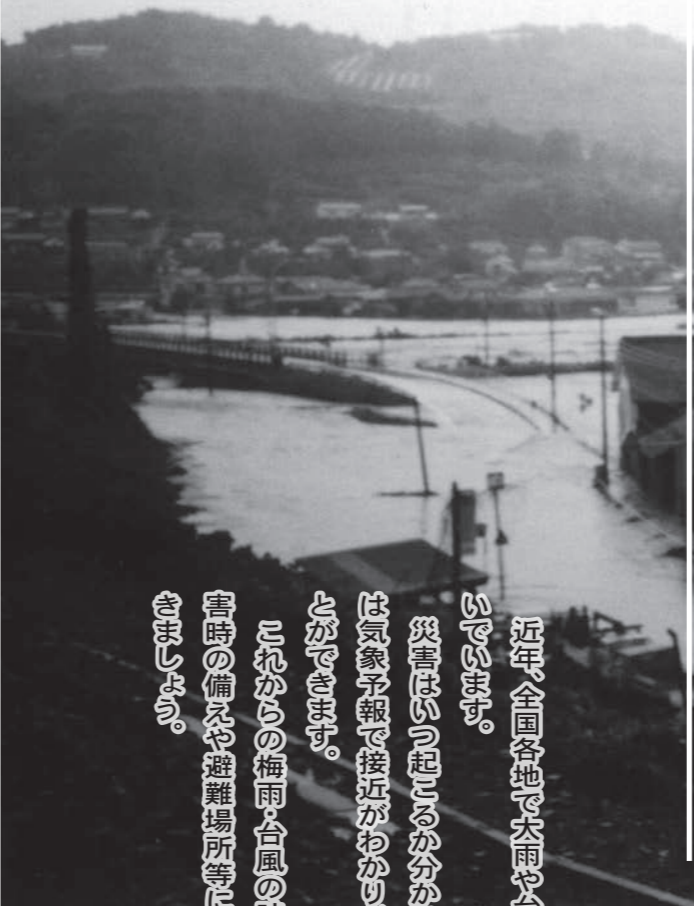
防災カメラサイト
<http://www.kitsukibousai.jp>

■防災カメラ設置場所・大内簡易郵便局交差点/杵築バスターミナル付近交差点/塩田交差点/杵築大橋/錦江橋/大左右橋/大井手橋/恒道橋/竜頭橋/角石橋

特集

今できる防災

〔写真〕平成9年台風19号の様子



近年、全国各地で大雨や台風による水害が相次いでいます。災害はいつ起こるか分かりませんが、台風などは気象予報で接近がわかり、あらかじめ備えることができます。これからの梅雨・台風の時期に向け、改めて災害時の備えや避難場所等について確認をしましょう。

■避難場所を知っていますか？

現在、杵築市では市内に約170か所の風水害避難場所を指定しています。この避難場所は、地域のみなさんと杵築市で選定したものです。避難場所の種類は様々で、小学校・中学校などの学校施設や地区公民館などの公的施設・行政区が管理する自治公民館、さらには民間施設など

も選定されています。しかしながら、最寄りの公的施設や自治公民館が避難場所に指定されていない行政区もありです。これは、土砂災害のおそれのある箇所や河川が氾濫した際に浸水するおそれのある地域にその施設が存在するため、避難場所として指定できないからです。避難場所は避難所生活を送るうえで、まず安全であることが重要です。距離が遠く、避

難に時間がかかるかもしれないが、被害のおそれのない安全な避難場所に避難しましょう。

被災地で実際にあった事例として、本来の避難場所が遠いため、日頃の避難訓練で危険区域内に存在する最寄りの公民館に避難しており、実際の大規模災害時も公民館に避難して被災したという事例が報告されています。訓練であっても本来の避難場所を使用することで、災害時にも自然と命を守る行動をとることができ、出水期前に再度、避難場所の確認をしておきましょう。避難場所は、杵築市防災マップサイトで確認できます。(上記参照)

また、杵築市防災カメラサイトでは、河川に設置されたカメラの映像や、防災ラジオで放送された災害情報の履歴を確認することができます。災害時等の情報収集にお役立てください。(上記参照)

過去に杵築市で被害が発生した大雨災害

災害発生年月	災害名称	1時間雨量 (市内の多いところで)	総雨量 (市内の多いところで)	被害状況	負傷者
平成9年9月	台風19号	75 mm	367 mm	全壊 2棟 半壊 6棟 一部損壊 8棟 床上浸水 204棟 床下浸水 482棟	軽傷 2人
平成10年10月	台風10号	53 mm	287 mm	床上浸水 114棟 床下浸水 286棟	軽傷 2人
平成24年7月	九州北部豪雨	40.5 mm	216.5 mm	一部損壊 1棟	なし

災害というのは慣れが怖い



平成9年台風19号
 当時の旧杵築市総務課長
 みつくて すずむ
 光来出 進さん

当時は八坂川の改修前で、よく小規模の氾濫をしていました。ですからみんな、いつもの感じだろうと思っていました。ところが、どうもいつもとは水の出方が違う。八坂川の堤防が決壊してからは一気に水が来て、八坂にある私の自宅も浸水しました。内水の影響で今の市役所がある谷町も50cmぐらい浸水しましたね。

避難勧告が出されましたが、避難は徹底されておらず、家に残っている人もいました。取り残された人を職員が船で助けに行っ



平成9年台風19号の写真